



もおかにしちょう

真岡西小だより

あいさついっぱい ①のちいっぱい ②んどううたいっぱい ③ほんえがおいっぱい ④もいやりいっぱい

もおかしりつもおかにしちょうがつこう
真岡市立真岡西小学校

令和6年度第8号

2024.12.25発行



ホームページもご覧ください

「めでたす!!」



充実の2学期、終わる

お陰さまで無事に2学期が終わりました。始業式の折、子供たちには「2学期は学校行事に全力で取り組み、【ハト・エイ・ゾウ】を大きくしよう」と話しました。子供たちはそれをよく守り、友達と協力して、いい汗をかいているシーンを私たちにたくさん見せてくれました。一つ一つの取組において、大きな成果が得られたと感じています。保護者・地域の皆様の御支援と御協力に感謝いたします。



1学年 大切に育てた朝顔のつるで、素敵なクリスマスリースを作りました。片仮名や漢字を覚えたりタブレット端末がどんどん使えるようになります。日々できることが増えています。

2学年 かけ算九九をすらすら言えるように何度も練習していました。「おもちゃランド」では、1年生を喜ばせようとゲームやプレゼントを準備して、一緒に遊んであげて楽しい時間を過ごしていました。



3学年 運動会では「Bling-Bang-Bang-Born」を早く覚え、本番もノリノリのダンスを披露して、見に来た人を楽しませていました。何より皆さんのがリズムに乗って楽しそうに踊っている姿がサイコーでした。クラブ見学や校外活動では、熱心にメモを取っている姿を見て、すばらしいなあと思いました。

4学年 自然教室では、学校や自宅を離れ、非日常の3日間を過ごしました。どうしたら楽しく過ごせるか、みんなで知恵を出し合って生活しました。「ふれあい活動」ではレクリエーションや料理、お菓子作りを通して、仲間やお年寄りとの交流を深めました。お年寄りの皆さんがとても感心して、喜んで帰られました。

5学年 学校行事や児童会活動、なかよし班活動などで6年生を助けていました。真岡西小の「縁の下の力持ち」的存在でした。勉強では、誰もが苦労する「割合」の学習や「ふりこ」の実験に熱心に取り組んでいました。1月には6年生から「最上級生」としてのバトンを受け継いで、真岡西小学校を引っ張ってくれることを期待しています。

6学年 ビッグイベント修学旅行がありました。直前に内閣総辞職というニュースが飛び込み、東京の行程変更を余儀なくされました。大ピンチではありました。国政の動きが肌で感じられる貴重な旅となりました。運動会では、最上級生のプライドをかけた「背渡り」、応援合戦を始め、競技や演技、係活動、集合・移動、あいさつなど、下級生に手本を見せながらリードし、「西リンピック」を大成功に導いてくれました。「なかよし集会」では、下級生が楽しめるように声を掛けたり歩く速さを合わせながら移動したりする姿が見られ、お兄さんお姉さんの優しさ、頼もしさを感じました。



明日からの冬休みは2週間と短いですが、1年の大きな節目でもあります。年末年始は、家族みんなで一緒に食事をしたり出掛けたりすることもあると思います。そのような機会を捉えて、学校であったことや新年の抱負など、お子様の話を是非聞いてあげてください。1月8日(水)に元気な子供たちと会えることを職員一同楽しみにしています。

ベルマーク運動の努力が実り、優秀賞をいただきました!



このほど、(公財)ベルマーク教育助成財団が主催する「第39回ベルマーク便りコンクール」において、本校が2年連続の「優秀賞」に輝きました。本コンクールの最高賞であり、受賞は全国で10団体のみです。本校でベルマーク運動を中心となって展開しているPTA厚生委員長さんにお気持ちを伺いました。



「連續でこのような賞をいただくことができて、ありがとうございます」

と委員長さんは実に謙虚に言葉少なですが、他の委員さんにも尋ねると、

「特にノルマや欲もなく、楽しいから自然に集まって活動しています」

「無理なく、できるときにできる人が集まっています。でも、この活動になぜか引きつけられるものがあります」と話してくれました。

「ベルマークだより」の発行も、いつも御苦労さまです！御賛同、御協力いただいている全ての皆様に感謝です。

ICT 教育推進研究校公開授業 (11/27)

今年度 ICT 教育推進研究校として研究を進めてきた本校の取組を他校の先生方にも授業を公開して共有しました。どの学級も、児童の興味を引きつける学習課題の設定をしたり、効果的な ICT 活用を工夫したりすることで主体的に生き生きと学ぶ児童の姿を見ることができました。



2年生



6年生

なかよし集会 (11/29)

児童会が企画して様々なアトラクションが準備され、縦割りのなかよし班で楽しむなかよし集会ですが、今年度は PTA 執行部やボランティアの保護者の皆様の参加もあり、更にパワーアップして盛り上りました。高学年児童はリーダーとしての自覚をもち、下学年児童は上級生への憧れをもつこともできました。



開会式



ディスゲッター・ナイン



輪投げ



フリースロー

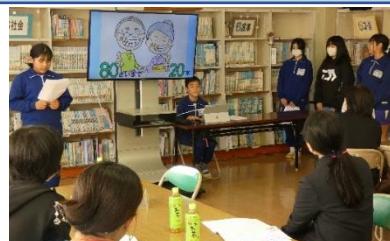


割り箸ゴム鉄砲

学校保健委員会 (12/12)

学校歯科医の青柳治様、学校薬剤師の関澤昭子様を迎えて、PTA 執行部、学年委員長、地区委員、健康委員会の児童、学校職員が参加して、学校保健委員会が行われました。

健康委員会の児童は、歯と口の健康について、歯と口の健康週間に実施した紙芝居・クイズや啓発用の掲示物などについて分かりやすく説明しました。その後、「歯と口の健康を保つためにできること」をテーマに課題とその対策について話し合い、学校歯科医、学校薬剤師の先生方から貴重な指導助言をいただきました。今後の学校での取組や保護者への啓発活動に生かしていきたいと思います。



この人に聞きました!

第 36 回下野新聞小学生読書感想文

コンクールで、見事県教育長賞に輝いた

伊澤 果子さん (4-2) にインタビュー！



私は読書感想文で教育長賞という賞に選ばれて、とてもうれしく思います。私は「ホタルとワタルの物語」という本を選びました。題名と表紙の絵から、すてきな物語が始まると予感がしました。

私が伝えたかったことは、命の尊さと友達の大切さです。私にとって本とは、知らない世界に入れる魔法のとびらです。本の世界でわくわくしたり、はらはらしたり、ぞくぞくしたり、たくさんの感情を体験することができます。そして私にいろいろなことを教えてくれます。本を読む時間は学ぶ時間であり、とても楽しい時間です。だから私は読書が大好きです。